

## 2009年中堅・中小企業の クライアントPCセキュリティ利用シェアと評価調査報告

ノークリサーチ（本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705：代表：伊嶋謙二 TEL：03-5244-6691 URL：http://www.norkresearch.co.jp）は2009年の国内中堅・中小市場におけるクライアントPCセキュリティ利用シェアと評価に関する調査を実施し、その分析結果を発表した。本リリースは「2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」のクライアントPCセキュリティカテゴリに関する速報である。

### <サービス混在化/軽量化/低価格化といった変化が安定シェアに今後変動を起こす>

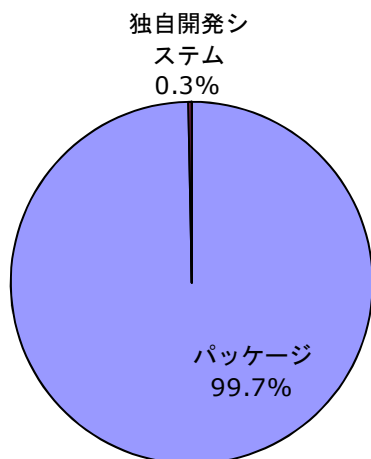
- ASP/SaaS形態についてはパッケージとサービスを組み合わせた混在型が今後の主流となっていく
- 上位三製品が安定シェアを維持するが、低年商帯では軽量性や価格を武器に新興製品が伸びを示す
- 軽量性が製品評価の大きなプラス要因である一方、コストが評価に与える影響はそれほど大きくない

対象企業	年商5億円以上～500億円未満を中心とした国内民間企業
対象地域	全国
対象の選定	弊社所有の企業データベースから抽出
サンプル数	約5,000社対象（有効回収票1,480件）
調査期間	2009年6月～9月

### ASP/SaaS形態については、パッケージとサービスの混在型が今後の主流となる兆し

以下のグラフは国内中堅・中小企業（年商5億円以上～500億円未満）の民間ユーザ企業に対し、クライアントPCセキュリティ導入形態現状（パッケージ、独自システム開発、ASP/SaaS形態）の比率を尋ねた結果である。

クライアントPCセキュリティ形態比率



N=1580

クライアントPCセキュリティは早期からパッケージによる導入が進んだ分野であり、パッケージが99.7%を占めている。

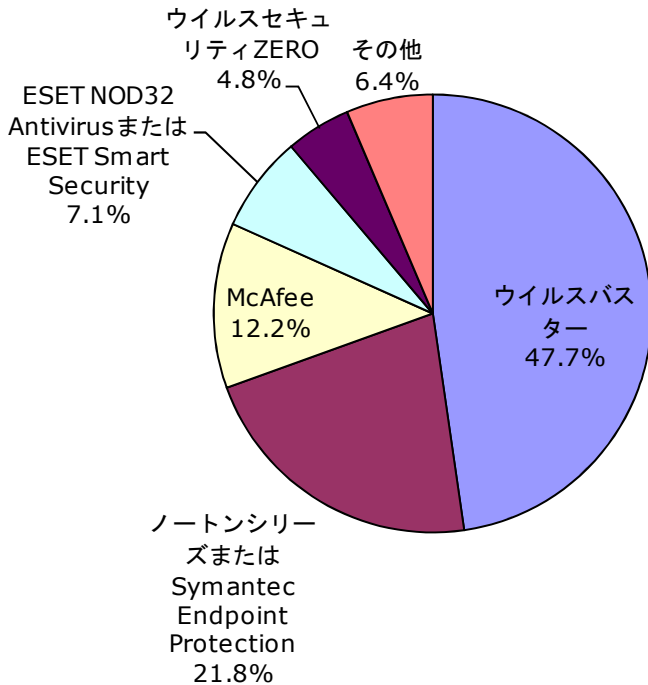
昨今ではウイルス定義ファイルの一部をネットワーク上に配置し、マルウェアの検出処理を遠隔で実行する機能を備えた製品も登場し、各ベンダが注力している分野でもある。

こうすることによってユーザ側の管理負担を軽減すると同時にマルウェア情報を世界規模で共有し、迅速な対応が可能となる。

ユーザから見れば、ASP/SaaS形態を利用しているという自覚がないため、形態比率を尋ねた結果には現れにくい。だが、今後は従来のパッケージとこういったサービス提供を組み合わせた形態へと徐々にシフトしていくものと予想される。

上位三製品が安定したシェアを維持するが、低年商帯では新興製品が伸びつつある

クライアントPCセキュリティパッケージシェア



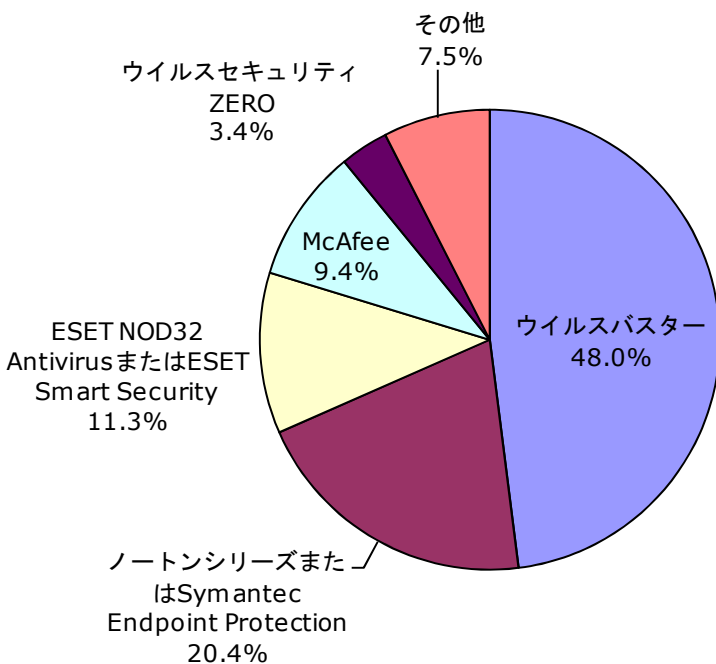
N=1576

左グラフはパッケージ利用シェア（現在導入済みのパッケージ製品に関する社数ベースのシェア）の結果である。

上位三製品の「ウイルスバスター」、「ノートンシリーズまたはSymantec Endpoint Protection」、「McAfee」については昨年と順位の変化はなく、上位三製品が安定したシェアを保っている。

ただし、年商50億円未満においては低スペックPCでも負荷のかからない「ESET NOD32 Antivirus または ESET Smart Security」や更新時の費用が不要な「ウイルスセキュリティZERO」といった手軽さを重視した製品のシェアが伸びてきている。

クライアントPCセキュリティ利用予定パッケージシェア



N=319

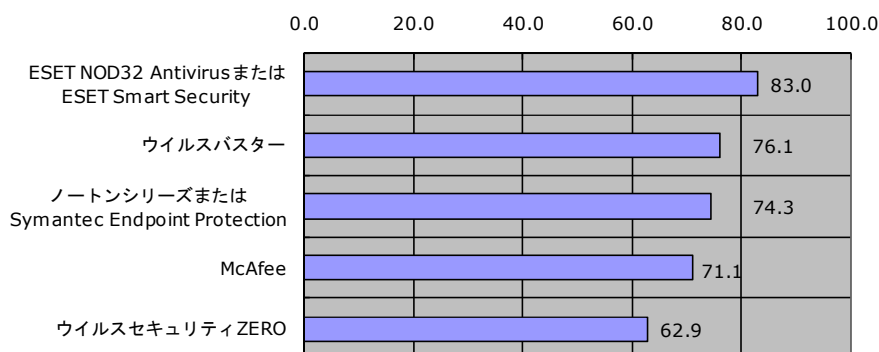
左グラフはパッケージ利用予定シェア（新規導入または今後も継続して利用する意向のあるパッケージ製品の社数ベースのシェア）の結果である。

上位二製品の「ウイルスバスター」、「ノートンシリーズまたはSymantec Endpoint Protection」の順位は昨年と同様であるが、三位は「McAfee」から「ESET NOD32 Antivirus または ESET Smart Security」と順位に変動が生じている。

攻撃手法が多様化することによって、セキュリティ対策処理の実行頻度は上昇傾向にある。そのため、動作時に消費するリソース（CPUやメモリ）の少ない製品が好まれる傾向が強くなり、その点で定評のある「ESET」を検討するケースが増えていると推測される。

## 軽量性が製品評価の大きなプラス要因である一方、低コストは大きな要因とはならない

クライアントPCセキュリティパッケージ評価



N=1576

左グラフは利用シェアにおける上位五つのパッケージに対するユーザの五段階評価（製品全体に対する総合的な評価）の結果である。

利用シェアにおける上位三製品の評価に大きな差は見られない。

軽量性で定評のある「ESET NOD32 AntivirusまたはESET Smart Security」が高い評価を得ている。

一方、更新費用無償をアピールする「ウイルスセキュリティZERO」については、コスト面のメリットが評価を押し上げる結果に結びついていない状況といえる。

## — レポート発刊のご案内 —

### 『2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価』

中堅・中小企業市場におけるITアプリケーションの動向を全国の中堅・中小の民間企業（年商5億円以上～500億円未満、1480社）の調査結果から詳細に分析した必携の一冊  
 価格： 95,000円(税別) ※CD-ROM版/製本版のいずれかを選択可  
 発刊日： 2009年10月26日

#### 【主なレポート内容】

- ・ ITアプリケーションの提供形態（パッケージ、独自開発システム、ASP/SaaS）の現状と今後
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用シェア（社数ベースの導入シェア）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別評価（製品に対する満足度を五段階で評価）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用予定シェア（社数ベースの導入予定シェア）

対象となるITアプリケーションカテゴリ

「ERP」「生産管理システム」「財務管理システム」「販売管理/購買管理システム」  
 「給与管理システム」「人事管理システム」「ワークフロー」「グループウェア」「CRM」  
 「運用管理/資産管理」「クライアントPCセキュリティ」「CTI」「DWH/BI」「文書管理」  
 「帳票」

当調査データに関するお問い合わせ

株式会社 ノークリサーチ 担当：岩上 由高  
 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705  
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692  
 inform@norkresearch.co.jp  
 www.norkresearch.co.jp

**NORKRESEARCH**